

## お知らせ

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。今回示します以下の研究では、患者さんのカルテの記録を使用します。

この研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテを利用することをご了解いただけない方は、下記【お問い合わせ先】までご連絡下さい。

【研究課題名】 十二指腸狭窄を有する切除不能膵腺癌を対象とした初回化学療法導入前の狭窄解除方法に関する多施設共同後ろ向き観察研究

【研究機関】 愛媛大学医学部附属病院 消化器・内分泌・代謝内科学

【研究責任者】 日浅 陽一（消化器・内分泌・代謝内科学 教授）

【研究代表者】 石井 浩（千葉県がんセンター 消化器内科 診療部長）

### 【研究の目的】

過去に受診された十二指腸狭窄症状を有する切除不能膵癌患者さんの診療録（カルテ）の情報を収集し、治療方法や有効性について評価する研究を行うことといたしました。この研究は膵癌における有効な治療方法の検討を目的としたものであり、今後の診療にも役立つことができると考えています。

### 【研究の方法】

2014年1月1日～2017年12月31日までに愛媛大学医学部附属病院において、十二指腸狭窄症状を有する切除不能膵腺癌患者さんのうち、十二指腸狭窄解除術として消化管ステント挿入術または外科的胃空腸吻合術を企図し、いずれかの処置を実施した患者さん。

（利用するカルテ情報）性別、年齢、PS（performance Status）、病期、合併症、血液検査データ、画像検査データ、治療状況 等

### 【共同研究について】

この研究は、他の病院や研究施設と共同で行っています。

対象となる患者さんのデータは、匿名化されて、紙の調査票を郵送、電子フ

ファイルを郵送することによって松山赤十字病院に送られ、解析されます。多くの情報を解析することで、医学・医療の発展に役立つ成果が得られることが期待されます。

**【個人情報の取り扱い】**

収集した情報は名前、住所など患者さんを直接特定できる情報を除いて匿名化いたします。個人を特定できるような情報が外に漏れることはありません。また、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。

**< 試料・情報の管理責任者 >**

愛媛大学医学部附属病院 消化器・内分泌・代謝内科学 小泉 光仁

さらに詳しい本研究の内容をお知りになりたい場合は、**【お問い合わせ先】**までご連絡ください。他の患者さんの個人情報の保護、および、知的財産の保護等に支障がない範囲でお答えいたします。

**【お問い合わせ先】**

愛媛大学医学部附属病院 消化器・内分泌・代謝内科学 小泉 光仁

791-0295 愛媛県東温市志津川

Tel: 089 - 960 - 5308